

研究実施者募集要綱

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団（以下「財団」という）は、油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの開発、生産・利用に関する基礎的応用的な技術の調査・研究の援助・助成を行うとともに、我が国及び世界の産業の発展と技術振興に寄与するため、研究等の実施者に所要の研究助成金を交付します。

1. 研究対象技術

財団の研究対象は、次のとおりとします。

- (1) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの開発に関する基礎的応用的な技術の研究
- (2) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの生産に関する技術の研究
- (3) 油圧・空気圧機器及びこれらの機器と周辺機器から構成される駆動システム、並びにこれを補完し、あるいはこれと併用する駆動システムの利用に関する技術の研究

(補足事項)

- ① 上記の“油圧・空気圧機器”には、水圧、ガス圧をはじめとする流体圧機器を含みます。
- ② 上記の“これを補完し、あるいはこれと併用する駆動システム”には、電気駆動システム、機械式駆動システム（歯車、ベルトなど）、機能性材料を利用する駆動システムなども含みます。

2. 応募の資格

次の①から②の要件を充たす人であること。

但し、大学院生を含む若手研究者（申請の翌年の3月末現在、満42歳以下）に限ります。大学院生は、③の要件も必要です。

- ① 下記の研究機関に、当該研究機関の研究活動を行うことを職務に含む者として、所属する者であること（有給・無給、常勤・非常勤、フルタイム・パートタイムの別を問いません。また、研究活動以外のものを主たる職務とする者も含みます）。

- ②当該研究機関の研究活動に実際に従事していること（研究の補助は除きます）。
- ③大学院生は、申請の研究課題を研究期間内、下記の研究機関において研究することのできる博士後期課程の学生に限ります。

記

1. 大学及び大学共同利用機関
2. 高等専門学校

3. 選定の方法

別途定める審査委員会において選定します。

4. 申請の手続

申請の手続きは、別に定める研究助成金交付申請書（以下「申請書」という）に従い申請して下さい。

5. 助成金の交付方法

助成金の交付方法は、交付対象となる研究等が選定されたのちにおいて、その研究等の研究助成金交付申請書の内容に応じ、財団が研究等の実施者と個別に協議して決定します。

交付した助成金については、研究等の目的の成功又は不成功にかかわらずその返還を求めません。

6. 研究成果等の帰属

研究等の実施過程において取得した工業所有権の実施権の許諾及びその条件については、研究等の成果を広く普及活用する観点から進めることとし、工業所有権は原則として援助・助成の場合は実施者に、委託研究の場合は協議の上その帰属を決定します。

7. 請書の提出

助成金の交付を受ける者は、次の事項を守る旨の請書を提出して下さい。

- (1) 研究等の実施は、あらかじめ財団に提出した申請書に従って実施すること。
- (2) 財団から求められた場合は、一定の様式に従い実施状況を報告すること。
- (3) 研究等の実施過程において申請書に変更を生じた場合は、財団に報告し承認を受けること。
- (4) 研究が完成したときは、一定の様式に従い財団に実施状況を報告すること。
- (5) 申請書に従い研究等を実施しなかった場合やその他交付の趣旨に反した行為を行った場合は、助成金を返還すること。
- (6) 研究の実施過程において、製造された機器・機械・設備等の処分並びに取得した成果の帰属、普及及び活用の方法については、助成金交付の趣旨に

則り、実施者は財団と協議してこれを処分すること。

(7) 研究の実施者は帳簿を備え、研究等に要する費用に係る経理を他経理と明確に区分して記入し、その出納を明らかにすること。

8. その他

申請書の提出先及び問合せ先

〒533-0002 大阪市東淀川区北江口1丁目1番1号

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団

電話 06-6340-5885

Eメール zaidan@blue.ocn.ne.jp

当財団の詳しい情報はホームページをご覧ください。

<http://www.zaidan.taiyo-ltd.co.jp>

請 書

令和 年 月 日

公益財団法人 油空圧機器技術振興財団

理事長 棚 橋 祐 治 殿

研究実施者
住 所

氏 名（名称及び代表者の氏名） 印

研究開発題目

The title of research (in English)

研究実施者募集要綱に定める事項を守り、上記の研究開発を責任をもって実施します。

助成金を受けようとする研究の具体的内容、範囲（次のページにわたって 1,000～1,500 字程度にとりまとめて下さい。） なお、過年度採択者の方は、これまでの採択研究課題との関連性（発展性や違いなど）を簡潔に追記して下さい。

次ページに続く

(前ページから続く)

1. 本研究を実施するグループに属する主な研究者の氏名・所属・役職

2. 助成金の主な使途

(注：実際に使用する項目、予定金額を記入して下さい。ただし、助成金交付後の使途変更については、公益財団法人油空圧機器技術振興財団の了解を得て下さい。)

(1) 人件費 (アルバイト謝金を含む)	万円
(2) 旅費	万円
(3) 会議費	万円
(4) 機械器具費	万円
(5) 材料費	万円
(6) 計算機使用料	万円
(7) その他 (内容)	万円

3. 研究実施時期 (始期及び終期 (見込み) を記入して下さい。)

令和 年 月から 年 月まで

今後新規に実施する場合は、令和2年3月が上記の期間内に含まれるようにして下さい。なお、これ以外に研究期間に特段の制限はありませんが、2年以内を目途として下さい。

研究実施概況報告書提出予定時期 令和 年 月

4. 過去5年間に発表した論文を記載し、特にこの申請に関係のあるものに○印をつけて下さい。

5. 油圧・空気圧に関連した所属学会

6. 本研究に関連して他の機関から資金援助等を受けておられましたら、その機関名と金額を記入して下さい。

7. その他の参考となる事項、希望事項、追加付記事項等がありましたら記入して下さい。(なければ記入しないで結構です。他の項目で書ききれなかった場合の追加用としても、差し支えありません。)
大学院生は、研究実施者募集要綱 2. 応募資格③の要件を充たすことを、ここに説明して下さい。

推薦者の署名捺印（推薦者は所属機関の長（学部長等を含む）とします。）